



「I-TF」港湾部会委員会・公正慣行委員会運営委員会 国際港湾資本の横暴と港湾「合理化」に抗して 港湾労働者の組織化とネットワークの構築へ

I-TFは5月16日（18日）、I-TF本部（ロンドン）において港湾部会委員会と公正慣行委員会運営委員会を開催した。

両会議には、真島中央執行委員長と玉田書記長、及び、全国港湾出身の2人目のインスペクター候補として活躍すべく準備をしている上村翔太さん（検定労連書記次長）が参加した。

○港湾部会委員会

「組織化」の「国際協約」を戦略目標として機械化・自動化に抗つて世界の仲間

全国港湾・独禁法問題で現状を報告
部会として支援継続を確

全国港湾は、2021年11月にリスボンで開かれた港湾部会で、いわゆる独禁法問題に関して、日本の産別交渉体制の再構築を目標としたたかいかいを支援する声明が採択されたことに重ねて感謝し、いままこの取り組みを進めていることを報告した。その中で、東京都労働委員会が不当労働行為と認定し産別交渉の促進を命令したことを強調した。これを日港協が受け入れず、中央労働委員会に再審査を求めた経過から、現在は中央労働委員会の判断・決定

を待つばかりとなっており、産別の賃金制度の交渉が独禁法に抵触するという理屈は、絶対に容認できないとの立場を強調した。

港湾部会委員会は、日本の取り組みを引き続き支援していくことを確認した。GNT（国際港湾資本）へのキャンペーン運動組織化・労働協約による社会的規制の取り組み

世界で事業展開するグローバル・ネットワーク・ターミナル（GNT・ドバイポート・ハッチソンなどの世界的国際港湾企業）は、そこに強固な労働組合があったり、労働側に弱点があるとした場合に、労働組合の存在そのものを否定したり、労働者との対話すら拒否する横暴な運営を進めている。これに対して、I-TFは労働組合権の確立や労働組合を締結することによる社会的な規制を取り組んでいる。

この問題で、I-TFはアフリカ地域を一つのターゲットにして活動を強化し、港湾部会とマスターミ



業、投資家、その他のサブライチェーンにおいて企業が持つ力を特に標的とし、直接雇用および下請け企業で働く交通運輸労働者の安全、権利、基準を尊重するよう、製品を輸送する輸送業者に圧力をかける取り組みを強化している。

また、中南米・カリブ海地域においても、同様の取り組みが進んでおり、この地域の16カ国から60名以上の参加者による総会が開かれ、自動化・GNT対策・組織化の戦略が検討されている。

アジア太平洋地域の活動では、23年4月に「ハッチソン・アジア太平洋会議」と「マスターミナルアジア太平洋会議」が行われ、具体的な対策が進んでいく。これらは、I-TFと「NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。」

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

自動化・機械化から雇用を守るたたかいかい
失敗
NZで自動化導入が注目しておくことの重要性が確認できる。

シャモ樽

医療従事者が診療報酬と介護報酬の臨時改定を要請している。診療報酬は、医療機関が行った診療行為に対して公的医療保険から支払われる対価のことです。病院経営の根幹を支えている。国は医療の質を保つために、医療行為ごとに金額を定めています。

公正慣行委員会運営委員会

船員・港湾労働者の権利強化・発展
船員・港湾労働者連帯で新たな協約改定の意思統一

各国の争議支援を確認
港湾部会は、各国の争議や協約改定交渉の支援を確認した。具体的には、①2022/2023年のI-LWU協約改定交渉への連帯
米西海岸29港で働く2万2000人以上の港湾労働者を対象とする新しい団体協約の交渉が2022年5月10日に始まり、現在も継続中（6月中旬に妥結）である。
②I-LWUカナダの交渉への支援
BCMEA社がI-LWUカナダとの労使交渉を拒否している。I-LWUカナダは港湾交渉委員会は、連邦政府に調停官の派遣を求めることを決定し、カナダ政府はこれを実施した。政府の調停委員を交え、再び協約を開始する予定になっている。

また、ユーザーや識者、機械メーカーなどが集まりドイツにおいて「コンテナターミナル自動化会議」が開催されたことについて報告された。そこでは、自動化は生産性の向上をもたらすことだけでなく、コスト削減効果も以前、予測されていたほど大きくないというコンセンサスが得られたことが特徴とされた。さらに、コストがかかるため、大規模ターミナルでしか採用されない可能性が高く、コンテナを1段階まで積み上げるシステムは、結果的に破壊的技術となる可能性もあると強調された。

③英国・リバプールの争議についての連帯
リバプール港（ギリス）では、95年の組合潰しとたたかいかい以降、厳しい状況が続いていた。05年に組合は生産性の向上をもたらすことだけでなく、コスト削減効果も以前、予測されていたほど大きくないというコンセンサスが得られたことが特徴とされた。さらに、コストがかかるため、大規模ターミナルでしか採用されない可能性が高く、コンテナを1段階まで積み上げるシステムは、結果的に破壊的技術となる可能性もあると強調された。

④洋上風力発電の問題に関する雇用確保のたたかいかいへの連帯
洋上ウィンドファームの問題を引き起こした。

建設・保守・運営は、海上エネルギー分野で最も急速に成長している産業となりつつある。2年前、米国マサチューセッツ州ニューベッドフォード沖に設置されたウィンヤードの一つの洋上風力発電所の一部として、ウィンヤード・ウィンド社はマサチューセッツ州建築建設業協会（建築・建設組合の連合体）とプロシエクト労働協定（PLA）を締結した。ウィンヤードは、非正規労働者の強制的な組合攻撃があり、これを跳ね返してきた。7週間のスト（24時間ピケと抗議行動）をたたかいかい14・5%の賃上げを勝ち取った。

⑤主議事は、国際交渉フォーラム（IBF）、新たなI-TF協約の改定に向けた要求内容などの検討で、とりわけ港湾サイドからは「ラッシュク作業者は港湾労働者の仕事（非船員系）の協約内容の充実・強化が強調された。」

この課題では、オランダとドイツで裁判闘争になっており、オランダでは労働側が有利な判決が出ている。BCMEA社がI-LWUカナダとの労使交渉を拒否している。I-LWUカナダは港湾交渉委員会は、連邦政府に調停官の派遣を求めることを決定し、カナダ政府はこれを実施した。政府の調停委員を交え、再び協約を開始する予定になっている。

また、ユーザーや識者、機械メーカーなどが集まりドイツにおいて「コンテナターミナル自動化会議」が開催されたことについて報告された。そこでは、自動化は生産性の向上をもたらすことだけでなく、コスト削減効果も以前、予測されていたほど大きくないというコンセンサスが得られたことが特徴とされた。さらに、コストがかかるため、大規模ターミナルでしか採用されない可能性が高く、コンテナを1段階まで積み上げるシステムは、結果的に破壊的技術となる可能性もあると強調された。

③英国・リバプールの争議についての連帯
リバプール港（ギリス）では、95年の組合潰しとたたかいかい以降、厳しい状況が続いていた。05年に組合は生産性の向上をもたらすことだけでなく、コスト削減効果も以前、予測されていたほど大きくないというコンセンサスが得られたことが特徴とされた。さらに、コストがかかるため、大規模ターミナルでしか採用されない可能性が高く、コンテナを1段階まで積み上げるシステムは、結果的に破壊的技術となる可能性もあると強調された。

④洋上風力発電の問題に関する雇用確保のたたかいかいへの連帯
洋上ウィンドファームの問題を引き起こした。

建設・保守・運営は、海上エネルギー分野で最も急速に成長している産業となりつつある。2年前、米国マサチューセッツ州ニューベッドフォード沖に設置されたウィンヤードの一つの洋上風力発電所の一部として、ウィンヤード・ウィンド社はマサチューセッツ州建築建設業協会（建築・建設組合の連合体）とプロシエクト労働協定（PLA）を締結した。ウィンヤードは、非正規労働者の強制的な組合攻撃があり、これを跳ね返してきた。7週間のスト（24時間ピケと抗議行動）をたたかいかい14・5%の賃上げを勝ち取った。

⑤主議事は、国際交渉フォーラム（IBF）、新たなI-TF協約の改定に向けた要求内容などの検討で、とりわけ港湾サイドからは「ラッシュク作業者は港湾労働者の仕事（非船員系）の協約内容の充実・強化が強調された。」

この課題では、オランダとドイツで裁判闘争になっており、オランダでは労働側が有利な判決が出ている。BCMEA社がI-LWUカナダとの労使交渉を拒否している。I-LWUカナダは港湾交渉委員会は、連邦政府に調停官の派遣を求めることを決定し、カナダ政府はこれを実施した。政府の調停委員を交え、再び協約を開始する予定になっている。